

感染症発生状況

令和6年8月7日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和6年7月29日（月）～8月2日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 580名 【職員】 18名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 116名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（239名）、咳・鼻水（120名）、下痢・腹痛（41名）、発疹（25名）

疾病別：手足口病（162名）、気管支炎・肺炎（31名）、胃腸炎（30名）、ヘルパンギーナ（19名）

【職員】 症状別：熱（7名）、咳・鼻水（3名）、下痢・腹痛（1名）

疾患別：新型コロナウイルス感染症（6名）、手足口病（1名）

夏風邪（手足口病、ヘルパンギーナ）と新型コロナウイルスは相変わらず流行しています。

さらにこの1か月でマイコプラズマ肺炎も流行し始めています。

上記3種のウイルス感染と違い、咽頭痛を伴わない、激しい咳き込みと発熱が特徴です。ご注意ください。

【症状別の発生状況】

手足口病 玉山地区、河北地区、盛南地区、都南地区で増加しました。河南地区で減少しました。

気管支炎・肺炎 厨川地区、河南地区で増加しました。玉山地区、河北地区、盛南地区、都南地区で減少しました。

胃腸炎 厨川地区、河北地区、盛南地区、都南地区で増加しました。

ヘルパンギーナ 玉山地区、河北地区で増加しました。

【県の状況（7/22～7/28）】

手足口病は増加し、定点あたり患者数は10.80人となり、警報値（5人）を超えています。盛岡市の教育保育施設で集団発事例が1件報告されています。本症は、口内や手足に水疱性の発疹が現れるウイルス性感染症です。乳幼児を中心に夏季に流行します。稀に髄膜炎等を併発することがあり、高熱や嘔吐等がある場合には速やかに受診しましょう。感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染です。予防には、手洗いやうがいのほか、患者との濃厚接触やタオルの共用を避けることが重要です。

新型コロナウイルス感染症は増加し、定点あたり患者数は12.51人となりました。県内のクラスターの発生は13件で、内訳は高齢者施設6件、医療施設4件、福祉事業所2件、教育保育施設1件でした。引き続き手洗い、咳エチケット等基本的な感染予防対策の確認をお願いします。

ヘルパンギーナは増加し、定点あたり患者数は1.98人となりました。本症は発熱とどの痛み、口内に現れる水疱性発疹を主症状とし、乳幼児を中心に夏季に流行するウイルス性の疾患です。予防には患者との濃厚接触を避け、手洗いやうがいを励行することが重要です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】